

永原学園地域子育て支援センター

さんこう・ぽぽらだより

令和2年12月発行・第164号

認定こども園西九州大学附属 三光保育園

TEL:0952-31-6877

12月の生活目標

- ♪お友達と仲良く遊びましょう。
- ♪「かしてね」「どうぞ」「いいよ」「仲間にいれて」などの言葉を使いましょう。

「今年の締めくくり」

新型コロナに振り回された今年の始まりでしたが、早いもので年末を迎えるに至りました。この間、子育て家庭に対するコロナ緊急アンケートの結果や有識者のご意見を目にしました。特にお母さま方の食事の提供とお休みの日の過ごし方についての悩みは大きいようでした。そんな悩みを知ると、園で何かできることはないかと職員みんなで知恵を絞り、簡単クッキングのレシピや料理法の動画を自園で作成して提供を試みました。そんなささやかなことでも喜んで下さる家庭があったり、作って食べた感想を届けて下さった時には心が通じた喜びでいっぱいになりました。

保育の現場では、未曾有の事態に対して休まず何とか保育ができる環境が維持できたこと、園児達が園にいる間は普通に生活できたことが何よりの喜びでした。「普通」をこれほど有難く感じたことはありません。今回のピンチをチャンスに思い換え、様々な新しい取り組みを導入できたことは、今後の保育現場の改善に繋がるかもしれません。あと、少し我慢の時をみんなで共に乗り越えて新しい年を迎えましょう。

0歳・1歳・2,3歳の日は、支援センターで遊んだり、運動場で自然散策をしたりして楽しみました。外では、どんぐりを大喜びで拾っていました♪シニアサロンでは、秋祭りをしました。皆さん、童心に戻って、的あてや輪投げをして楽しんでいただきました♪



「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におし頂き楽しいひと時を過ごしています。お茶とお菓子を頂きながら、おしゃべりや物づくりを楽しみませんか？
日時：12/22(火)・1/27(水)

♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。
※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。
事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

さんこう・ぽぽら開放の時間帯について

【開園日】月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】9:00～12:30

- ・園行事の為、ご利用できない場合があります。
- ・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

12:30～13:30

昼休みの為閉園

13:30～16:00

- ・ご利用の場合は、必ず電話での申し込みをお願いいたします。

12月・1月の「子育て支援事業」のお知らせ

- ・12月 2日(水)…赤ちゃんの日(1歳未満)
- ・12月 3日(木)…1歳の日
- ・12月 4日(金)…2歳・3歳の日
- ・12月 21日(月)…フリーデー
- ・1月 14日(木)…赤ちゃんの日(1歳未満)
- ・1月 15日(金)…1歳の日
- ・1月 18日(月)…2歳・3歳の日
- ・1月 25日(月)…フリーデー
- ・1月 26日(火)…フリーデー

※時間：10時～11時

※開催場所：子育て支援センター・運動場

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

1歳と2・3歳の日は、参加できます。

※事前の電話での申し込みが必要です。

12月分の申し込みは、12/1～9時半～17時です。

1月分の申し込みは、1/6～9時半～17時です。

★新型コロナウイルス感染症の状況により、計画の変更がある場合があります。出かける前に必ずホームページで確認してください。感染症対策にもご協力ください。

年末・年始にかけて、下記の提言を参考にして団樂を過ごしましょう！

「5つの場面」に関する分科会から政府への提言

感染症対策分科会

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

<利用者>

- ・飲酒をするのであれば、①少人数・短時間で、
②なるべく普段一緒にいる人と、
③深酒・はしご酒などはひかえ、適度な酒量で。
- ・箸やコップは使い回わず、一人ひとりで。
- ・座の配置は斜め向かいに。(正面や真横はなるべく避ける)
(食事の際に、正面や真横に座った場合には感染したが、斜め向かいに座った場合には感染しなかった報告事例あり。)
- ・会話する時はなるべくマスク着用。(フェイスシールド・マウスシールド^{※1}はマスクに比べ効果が弱いことに留意が必要^{※2}。)
※1 フェイスシールドはもともマスクと併用し服からの飛沫感染防止のため、マウスシールドはこれまで一部産業界から使われてきたものである。
※2 新型コロナウイルス感染防止効果については、今後さらなるエビデンスの蓄積が必要。
- ・換気が適切になされているなどの工夫をしている、ガイドライン[★]を遵守したお店で。
- ・体調が悪い人は参加しない。

<お店>

- ・お店はガイドライン[★]の遵守を。
(例えば、従業員の体調管理やマスク着用、席ごとのアクリル板の効果的な設置、換気と組み合わせた適切な扇風機の利用などの工夫も。)
- ・利用者に上記の留意事項の遵守や、
接触確認アプリ(COCoA)のダウンロードを働きかける。
【飲酒の場面も含め、全ての場面でこれからも引き続き守ってほしいこと】
 - ・基本はマスク着用や三密回避。室内では換気を良くして。
 - ・集まりは、少人数・短時間にして。
 - ・大声を出さず会話はできるだけ静かに。
 - ・共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒の徹底を。

★従業員で感染者が出たある飲食店では、ガイドラインを遵守しており、窓を開けるなど換気もされ、客同士の間隔も一定開けられていたことから、利用客(100名超)からの感染者は出なかった。

3

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご宿では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイグロドーム感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

